

特別研修会「自然観察基礎講座」

冬こそ楽しい！ 野鳥と樹木 座学と野外

日 時：2016 年 1 月 23 日（土）10 時～15 時

場 所：21 世紀の森と広場（松戸市） パークセンターと共催

一般参加者：18 名、会員 16 名

講師：片岡、鈴木（俊）、スタッフ：渋谷、三嶋、田島、田中

この講座は松戸市 21 世紀の森と広場パークセンターとの共催で実施し、一般の方と一緒に勉強しました。春夏秋に続き 4 回目（今年度最後）となります。講師のお二人にはご苦勞をおかけいたしました、おかげさまでよい学びができました。

「野鳥と仲良くなろう」報告

「野鳥は名前が覚えられなくて…」と言われる方が多いような気がします。植物や昆虫を楽しむように、もっと気楽に鳥に親しんでもらいたくて、主題は「鳥と仲良くなろう」にしました。まずは野鳥観察入門から。あとはゆっくり自分流で深めていただければいいかなと思いました。講座の準備は「パワーポイント？」「うちのパソコンでできるの？」からのスタートでした。人前で 1 時間も話すのは「生まれて初めて」です。間違っただけを伝えないように、何冊も本を読み直したり、図書館で調べたりととてもいい勉強ができました。構成や説明の内容は拙いもので、「恥ずかしい」の一語に尽きますが、新しいことに挑戦する機会をいただいたことに感謝します。（片岡真智子 野田市）



「冬の植物」報告

当初、「植物分類の話」をしようと思い、植物の DNA による分類を調べていくうちに、DNA に関してあまりにも素人で、一部の植物のみの DNA 導入など疑問が多く諦めた。話が飛ぶが、材料開発（結晶構造の決定）に X 線が重要な役割を果たしたが、X 線が発見される前は結晶を多くの人が丁寧に観察（大きさ、形、色、面の角度、組織、・・・）し、調べられている。そのことが X 線発見後にも結晶の理解に十分役立った。植物分類における DNA 導入が今までの自然観察（植物の分類研究調査）が利用されないのではと私は感じている。これはあくまでも私が感じたことですが？よって、冬の植物観察の定番、冬芽、ロゼットを報告したが多くの指導員参加の為、軸がぶれ、植物の凍結・乾燥・脱水などの科学的な話を一部導入してしまった。ただ、この講座の報告は自分なりの整理ができて大変有意義になった。（鈴木俊二 我孫子市）

